

第104話 疫病の流行

中山町歴史散策

疱瘡（天然痘）は、元和5年（1619）、疫病とともに近隣に流行し、以降寛政7年（1795）、文化元年（1804）、文久2年（1862）にも村山郡一円で大きな流行となりました。

当時、病原体については誰も分からぬため、母親の食事に含まれた異物とか、子どもの体内から噴き出す吹出ものと考えられていたようです。

伯寿の「外来伝染病原因説」は、まだまだ受け入れられず、中には「疱瘡神」の祟りと信じ、疱瘡神を祀ることも流行していました。

発病があると、全身に小さな発赤（赤いぶつぶつ）ができるが見られ、高熱を生じ、次に発疹は大きくなり、爪ほどの大きな膿疱（うつぼ）ができる。やがて自然治癒すると膿疱のあとがクレーター状に陥没し、通称「ジャガ」といって女性には恐怖的の的となっていました。

この病気は、伝染力が強い

※参考 中山町史 中巻
第9章 第4節 疫病の流行

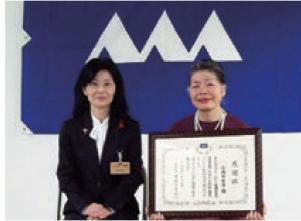
疱瘡（天然痘）は、元和5年（1619）、疫病とともに近隣に流行し、以降寛政7年（1795）、文化元年（1804）、文久2年（1862）にも村山郡一円で大きな流行となりました。

上に死亡率も高い特徴がありました。

英國人エドワード・ジェンナーによつて、牛の膿疱を人間に接種する「牛化天然痘ウイルス」の接種により、軽い感染を生じさせ免疫を得ることに成功、1800年頃、オランダ商館の医師らによって紹介され、嘉永2年（1849）、佐倉藩医植林宗建によつてその効果の大きさことが確認されています。

安政5年（1858）、江戸の蘭方医伊藤玄朴ら883名に種痘法普及を命じた幕府は、全国各地に医師を送り種痘法が伝えられました。

長崎の石沢太惣治家文書（文政3年）の中の「ほうそ見舞請帳」には、石沢家の発病者が子どもであったのか、多くの見舞客が訪れ、主に菓子類が持ち込まれているといふ興味ある記述がみられます。

健康づくり栄養改善に貢献
県知事感謝状を贈呈（10月29日県庁）

感謝状を受賞した小関日出子さん（写真右）と県健康福祉部長



画家 郷間正觀さん中山町を訪問 富士三光の絵を寄贈

10月28日、画家の郷間正觀さんが役場を訪問し、佐藤町長に富士の絵画（縦1m横1m）を贈りました。

郷間正觀さんは、中国出身で中国の伝統に基づいた水墨画の神韻と、日本画と西洋画の技法を結びつけた独自の画風で、日本国内外で制作活動し、海外では中国はもちろんアメリカ、ドイツ、オーストラリアなど世界7ヶ国に作品が展示・収納されています。日本でも兵庫県、岩手県、山形県などで作品の展示を行つており、寒河江市美術館の会長として会員の先頭に立ち、生業伝統料理である「芋棒煮」の普及活動などを通して町民の健康増進に尽力されました。

小関日出子さんは（南小路）に、山形県健康づくり・栄養改善関係功労者として、知事感謝状が贈られました。

郷間さんはこれまで、健康づくりのボランティア団体である中山町食生活改善推進協議会の会長として会員の先頭に立ち、生業伝統料理である「芋棒煮」の普及活動などを通して町民の健康増進に尽力されました。

町の人権擁護委員の皆さん

人権擁護委員は、地域の皆さんからの人権に関する相談を受け、問題解決のお手伝いをしたり、法務局の職員と協力して「人権侵害」による被害者の救済活動を行っています。

また、「人権」について関心をもっていただけるよう、普段から人権の啓発に努めるとともに、人権擁護の活動を行っています。

中山町における人権擁護委員は次の4名ですので、お気軽にご相談ください。



鈴木 祐吉
(金沢5)



齋藤 榮子
(達磨寺1)



高橋ヤエ子
(下川)



今野 敏博
(新田町1)

※前任の伊賀良男委員は退任しました。

■人権なんでも電話相談

山形地方法務局では電話による相談を受け付けています。

☆人権なんでも相談 ☎ 625-1363

☆子どもの人権 110番 0120-007-110 (フリーダイヤル)

☆女性の人権ホットライン 0570-070-810 (ナビダイヤル 全国統一番号)

相談時間は平日午前8時30分から午後5時15分までです。



人権の花運動に参加する園児たち（ながさき幼稚園）

法務省が実施する「人権の花運動」の取り組みとして、10月16日に、ながさき幼稚園の子どもたちが花の苗の植栽を行いました。この運動は子どもたちが協力しながら花を育てることで、優しさや思いやりの気持ち、命の大切さを育もうと町の人権擁護委員を中心に毎年実施されています。

今年は、6月に豊田小学校で植栽され、10月中旬から11月下旬にかけて、長崎小学校、なかやま保育園で行われます。



バケットボール、ゴールは、スポーツ振興くじの助成を受けた新たに整備されたものです。信じよう。スポーツの力を。

FOR ALL SPORTS OF JAPAN

10月7日、町体育館に移動式バスケットボールゴールが初お披露目となったゴールで、スポーツ少年団、中学校バスケットボール導入記念として、ミニバスケットボールゴールでシート練習を行いました。

今回更新されたバスケットボールゴールは、スポーツ振興くじの助成を受けた新たに整備されたものです。

思いやりの心を育てよう
～人権の花運動～

1組が新しくなりました